

中部運輸局観光部

平成30年3月28日

定例記者懇談会発表

Japan.
Hands-Free
Travel

<お問い合わせ先>

中部運輸局観光部 金子、上井

TEL : 052-952-8045

『高山-松本 Hands-Free Travel』実証実験結果を取りまとめ

～ “貨客混載輸送による手ぶら観光サービス” を推進 ～

中部運輸局と北陸信越運輸局は、昨年8月28日から11月15日までの80日間にわたり、「高山-松本 Hands-Free Travel」実証実験を実施しました。

本実証実験は、昇龍道の人気観光スポットとなっている高山・上高地・乗鞍・新穂高・松本を訪れる外国人旅行者に対し、ストレスフリーな移動環境を提供するとともに、各観光スポットにおける手荷物預かり所やコインロッカー不足の問題に対処することを目的に実施したものであり、高山⇄松本間を運行する高速バスの下部トランクを使用した貨客混載輸送を行うことにより、高山市内と松本市内の宿泊施設間における手荷物の当日配送を実現しています。

今般、本実証実験の検証結果について取りまとめましたので、別紙結果概要によりお知らせします。

なお、本実証実験の詳細については、平成29年8月23日発表のプレス資料をご参照下さい。(<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/kankou20170823.pdf>)

『高山－松本 Hands-Free Travel』 構築に向けた実証実験（結果概要）

中部運輸局観光部
平成30年3月28日



Chubu District Transport Bureau

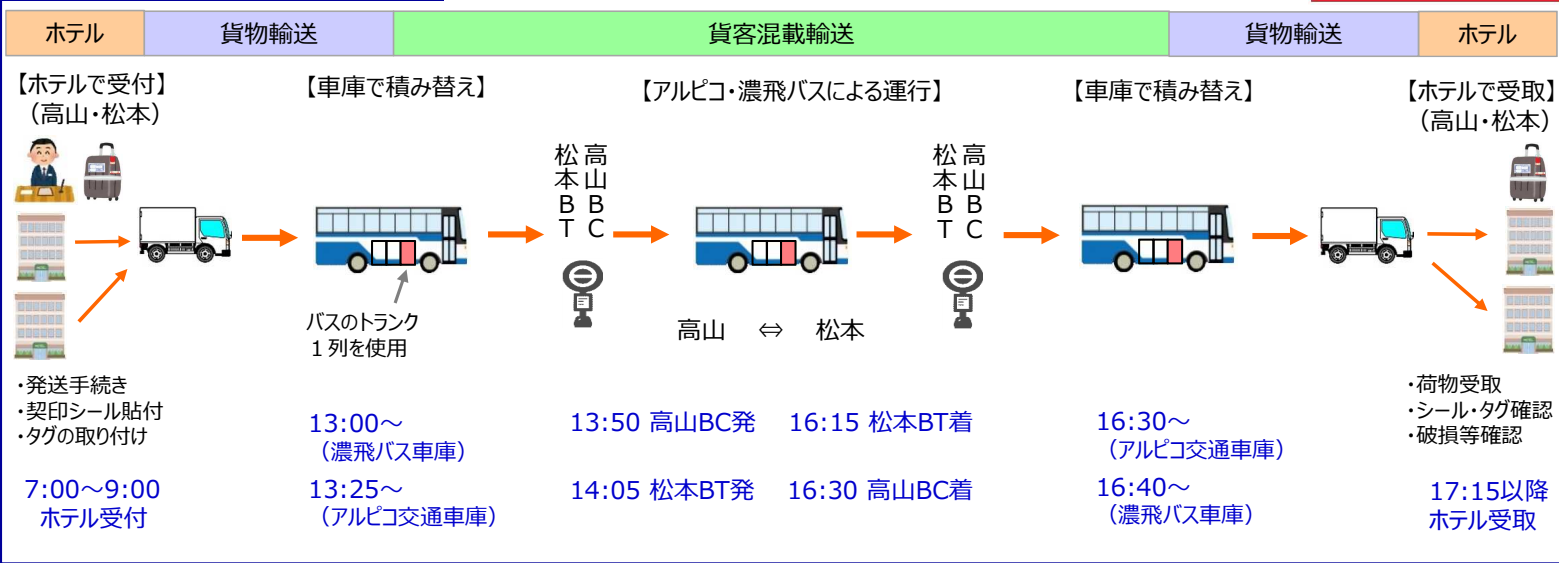


『高山－松本 Hands-Free Travel』 実証実験（概要）

高山－松本間を運行する高速バスを活用した貨客混載輸送を行い、外国人旅行者の観光及び移動時の負担軽減を図るとともに、荷物の当日配送による利便性向上を図り、手ぶら観光を促進させる。

実証実験の流れ

実験期間 平成29年8月28日～11月15日（80日間）



外国人旅行者は“手ぶら”で高山⇄松本間を観光



	日付	発地 ⇒ 着地	個数	利用人数
1	H29年9月5日 (火)	高山 ⇒ 松本	1 個	1 人
2	H29年9月22日 (金)	松本 ⇒ 高山	12 個	10 人★
3	H29年9月26日 (火)	松本 ⇒ 高山	2 個	1 人
4	H29年9月29日 (金)	松本 ⇒ 高山	2 個	2 人
5	H29年10月2日 (月)	松本 ⇒ 高山	2 個	1 人
6	H29年10月17日 (火)	高山 ⇒ 松本	1 個	1 人★
7	H29年10月27日 (金)	松本 ⇒ 高山	2 個	1 人
8	H29年11月10日 (金)	松本 ⇒ 高山	8 個	8 人★
合計			30 個	25 人
高山発			2 個	2 人
松本発			28 個	23 人

図 1

① 荷物の発送状況

- ・期間中、30個の手荷物を発送。
- ・うち、松本⇒高山が28個と、9割以上を占めた。
- ※ ★は、対象ホテル以外のホテルで発送或いは受取をしたもの。

② 利用者の内訳

- ・利用者の8割以上が欧米豪であり、利用者全員が1～10名以内の個人又はグループ旅行（FIT）。
- ・男性6割、女性4割、利用者のいずれもが30代～50代。

(2) 利用者の声

① サービスの満足度

- ・利用者全員が「重い荷物がない旅行は素晴らしかった」等の回答
- ・満足度については、1名を除く全員が「満足」と回答
- ※ 1名の不満足は、バスが遅延したことにより、荷物の到着が遅くなったことによるもの。

② 荷物の受付・受取

- ・利用者全員が受付及び受取の時間は「適切」と回答
- ・1名が荷物の受付がスムーズではなかったと回答
- ※ 1名のスムーズでない理由は、初めての利用（9月5日）の際に、サービス対応の不慣れさがあったもの。
- ・2名が荷物の受取がスムーズでなかったと回答
- ※ 2名のスムーズでない理由は、ホテルのフロントが2箇所に分かれていたことと、①のバスの遅延により荷物の到着が遅くなったことによるもの。

③ サービス料金

- ・物流事業者とバス事業者の相談により1個あたり3,000円
- ・利用者の半数が高いと回答
- ・残りの半数は、「安い」、「ちょうどよい」、「無回答」
- ※ 「高い」と回答した人の希望料金は、1,500円～2,500円
- ・実証実験利用者以外に別途実施した外国人旅行者へのアンケート調査（図2）においては、75%が2,000円以下を希望する結果となった。

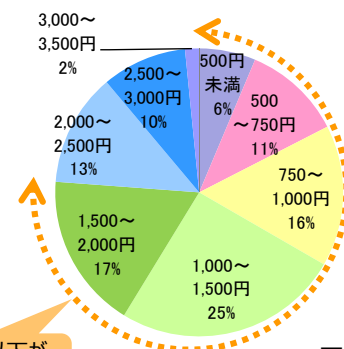


図 2

④ 荷物を発送してから訪れた観光地

- ・上高地が6割、松本城と白川郷が2割。
- ※ その他は有効な回答が得られなかった。

(3) 本サービスの継続と今後の方向性

① 本サービスの継続にあたっての課題

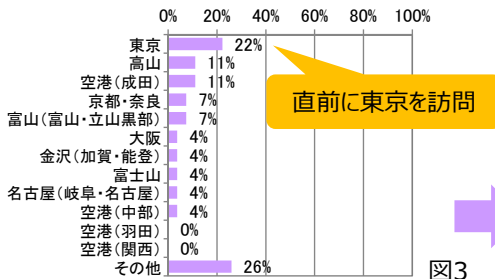
- ・発送時及び受取時に利用できる**宿泊施設の拡大**
- ・**2,000円程度の料金**
- ・**物流事業者の採算性**
- ・**地域における協力体制**の構築

② 今後の方向性

- ・実証結果 (図1) 及びアンケート調査結果 (図3~4) によれば、**松本⇒高山の需要は高い**ことから、**松本⇒高山における継続**を引き続き検討する。
- ・さらに、アンケート調査結果 (図5~6) による需要が高いと見込まれる**高山⇄金沢における展開**も検討していく。

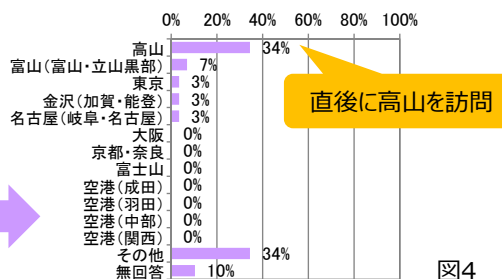
【手ぶら観光アンケート調査結果】

松本に滞在する直前の訪問地



直前に東京を訪問

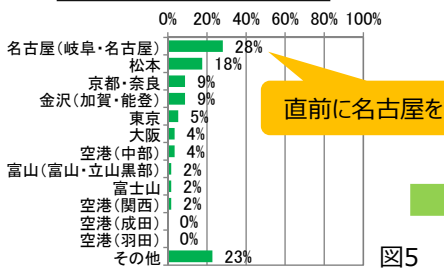
松本に滞在した直後の訪問地



直後に高山を訪問

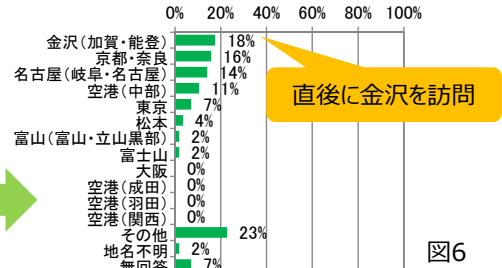
松本

高山に滞在する直前の訪問地



直前に名古屋を訪問

高山に滞在した直後の訪問地



直後に金沢を訪問

高山

※平成29年9月に、名古屋・高山・松本の各バスターミナルにおいて、外国人旅行者にアンケート調査を実施。
※アンケート調査を実施したうち、高山または松本を訪れる(訪れた)外国人旅行者に直前及び直後の訪問地を集約したものの。

参考 実証実験中の様子

① 実証実験の様子



荷物の配送手続き (高山市内ホテル)



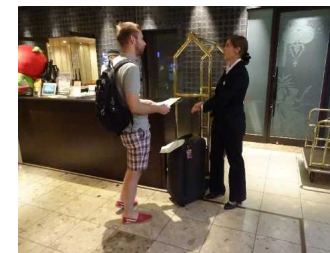
手ぶら観光用のタグ等の取り付け



トラックからバスへの積み替え



旅行者は高山~松本間を手ぶらで観光



荷物の受取り (松本市内ホテル)



各所で掲示したPRポスター



JNTO海外事務所Facebookでの発信

② 情報発信

- ・外国人記者による旅行口コミサイト「ジャパントラベル」体験記事掲載
- ・ジャパントラベルのメールマガジンでの発信
- ・JNTO(日本政府観光局)の海外事務所Facebookでの発信
- ・飛騨高山Facebookでの発信
- ・関係機関等のホームページでの情報発信 等